

いぶりの商業

胆振の概況 2023

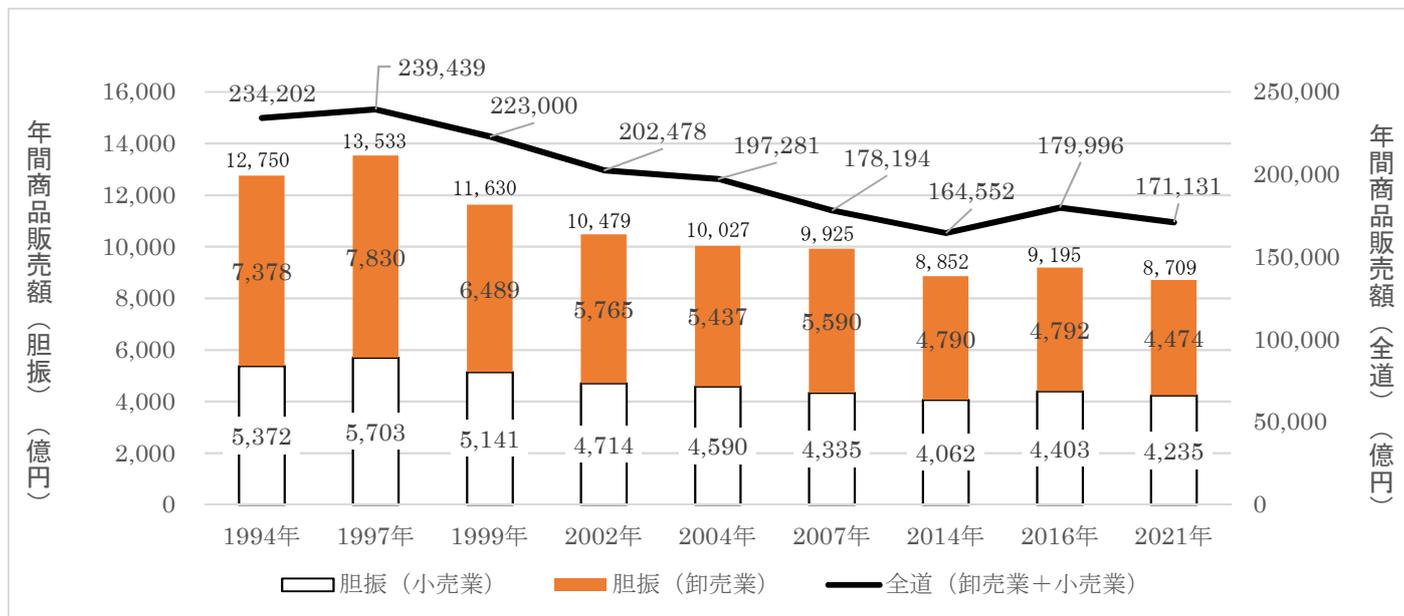
- 胆振の商業は、室蘭市や苫小牧市を中心に発展してきました。
- 卸売業の中心は室蘭市及び苫小牧市で、管内の卸売商品販売額の約9割を占めています。また、小売業においては、苫小牧市、室蘭市、登別市及び伊達市に大型店舗が集まり、4市の小売商品販売額の合計は管内の約9割を占めています。
- 1994年には712億円あった町での小売商品販売額が2021年には360億円となり、胆振管内全体の商品販売額の減少率が21%であるのに対し、町では51%となっており、スーパーがなく地元での買い物が難しい地域もあります。
- 商品販売額については人口の減少や高齢化の進展とともに全道的に減少してきており、胆振管内においても同様に1997年を境に減少が続いています。
- 郊外への大型店舗の相次ぐ出店などにより中心市街地や地域の商店街の集客力低下や空洞化が進む中、さらに近年はエネルギーや物価の高騰の影響などを受けて厳しさが増しており、地域ではプレミアム付商品券を発行するなど域内の消費循環を図っています。また、小売店舗等では道の中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業を活用するなど、新サービスの展開や新商品開発、ECサイトの開設等の新たな販路開拓などの取組が行われています。

◎市・町別商品販売額（小売）



平成6年（1994年）商業統計調査、令和3年（2021年）経済センサス活動調査

◎年間商品販売額の推移



(平成26年(2014年)まで商業統計調査、令和3年(2021年)経済センサス活動調査)

◎中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業の申請・採択状況（胆振管内2023年度）

- ・卸売業での採択 新サービスの展開3件
- ・小売業での採択 新サービスの展開3件、販路開拓4件
- ・飲食業での採択 新サービスの展開3件
- ・サービス業での採択 新サービスの展開8件、新商品開発4件、販路開拓5件